

職場安全管理の改善に向けたヒューマンファクタ分析手法

宮地由芽子

個人の作業結果が引き金になって発生した事故でも、その背景には組織の安全体制あるいは安全風土といった安全マネジメントの問題があると考えられ、組織的な取組みが求められている。

しかし、鉄道関連企業等に対する実態調査の結果では、事故の背景要因の調査・分析の際に体系的な手法を用いている箇所は少なかった。

そこで、ヒューマンエラーに起因する事故の防止に向けた職場安全管理を支援するツールとして、ヒューマンファクタ事故分析手法を開発した。この手法は、3段階の手続きで構成されており、ヒューマンファクタモデルやPDCAサイクルを手掛りに事故の発生経緯を分析した後、さらに、管理要因まで深く背景要因を分析しようとする手法である(図)。

(鉄道総研報告, 2007年5月)

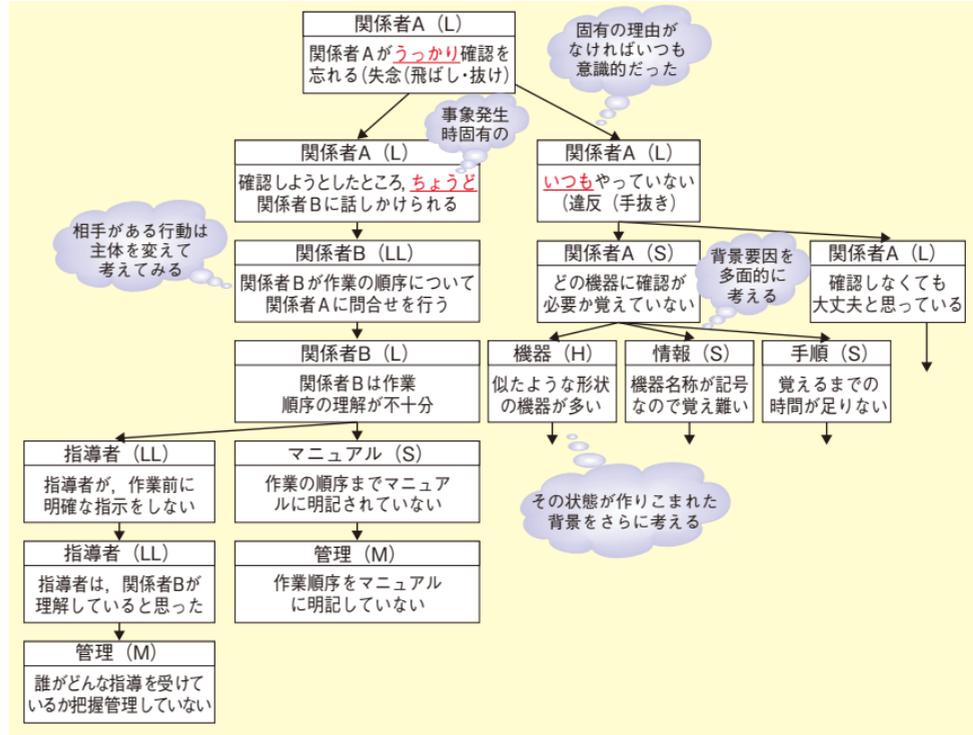


図 分析過程の一部